

日本熱測定学会16回通常総会

日 時 平成元年11月1日

会 場 大阪大学シグマホール（第25回記念熱測定討論  
会会場）

1. 総会の成立

総会出席者は委任状（383通）を含めて423名、正会員総数（820名）の1/4を超えるので第16回通常総会は会則第17条により成立した。

2. 議 題

1. 平成元年度事業報告承認の件
2. 平成元年度収支決算承認の件
3. 平成2年度役員の内
4. 平成2年度事業計画決議の件
5. 平成2年度収支予算決議の件

1. 昭和62年度事業報告（1988.10.1～1989.9.30）

① 会員現況 ( )内は維持会員口数

	1988.10.1	入会者	退会者	1989.9.30
正会員	782	73	35	820
維持会員	35(66)	6(6)	2(2)	39(70)

② 集会関係

- 1) 委員会1回（東京）、幹事会4回（東京4回）、庶務幹事会1回（東京）、編集委員会4回（東京）
- 2) 第24回熱測定討論会（1988.10.3～5.東京）  
発表件数：一般発表 78件  
ミニシンポジウム 33件  
特別講演 4件  
参加者数：245名
- 3) 第15回通常総会（1988.10.4,東京）熱測定 Vol.16, No.1（1989）41参照
- 4) 第25回記念熱測定討論会運営委員会1回（1989.7.17,大阪）
- 5) 第17回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（1989.2.20～21,東京）参加者126名
- 6) 第6回熱測定ワークショップ「熱分析におけるデータ解析ソフトの問題点」（1989.2.22,東京）参加者73名
- 7) 第18回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」

（1989.7.10～11,京都）参加者115名  
8) 第7回熱測定ワークショップ「機能性材料の制御と熱測定」

（1989.7.17,仙台）参加者40名

③ 共催・協賛関係

- 共催：第32回粘土科学討論会（1988.10.3～6,愛媛大学）  
：第29回高圧討論会（1988.11.16～18,藤沢）  
協賛：H.-J.Hinz教授講演会（1989.3.10,主催：大阪府立大学農学部,大阪）  
：日本熱物性研究会創立10周年セミナー（1989.6.30,主催：日本熱物性研究会,東京）  
：蛋白質工学的ための蛋白質結晶構造解析入門（1989.9.18～20,主催：日本結晶学会,大阪）  
：第10回熱物性シンポジウム（1989.9.20～22,主催：日本熱物性研究会,札幌）  
：第2回アジア熱物性会議（1989.9.20～22,主催：第2回アジア熱物性会議組織委員会,札幌）

④ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行 各号1,000部  
Vol.15, No.4 58頁 計本文222頁  
Vol.16, No.1～3 164頁（別に会告27頁）  
内容：巻頭言1,論文6,総合論文3,総説8,解説1,小特集「熱分析におけるデータ解析ソフトの問題点」熱測定応用の頁6,その他レポートなど
- 2) 「新熱分析の基礎と応用」の発行（熱測定討論会25周年記念事業として）

⑤ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ（主催：十時 稔）：  
会合2回（滋賀,東京）  
会誌「熱測定」熱測定応用の頁に協力
- 2) 熱力学データベース作業グループ（主査：山内 繁）：  
会合1回（東京）  
「化学工業」誌に「熱力学データを使いこなすために」を連載中  
サブグループ（分圧制御ソフト開発作業グループ,世話人：脇原将孝）：  
会合2回（東京）
- 3) B C T ( Bulletin of Chemical Thermodynamics ) 情報収集作業グループ（主査：菅 宏）

⑥ 国際協力

国際学術団体 (IUPAC, ICTA, CODATA) との  
協力など

IUPAC: 菅 宏 (阪大理) IUPACI, 2  
化学熱力学委員会

ICTA: 小沢丈夫 (ダイセル化学工業)  
ICTA 副会長  
十時 稔 (東レリサーチセンター)  
ICTA 評議員  
谷口雅男 (神奈川工大) "Thermal Analysis Reviews & Abstracts" Regional Editor

CODATA: 山内 繁 (国立リハビ研) 日本  
コーデータ協会役員

2. 平成元年度収支決算 (1988. 10. 1 ~ 1989. 9. 30)

科 目	決算額(円)	予算額(円)
収 入	8,073,570	7,526,000
(I) 会 費 収 入	3,629,000	3,706,000
正 会 員 会 費	2,329,000	2,346,000
維 持 会 員 会 費	1,300,000	1,360,000
(II) 事 業 収 入	4,370,408	3,770,000
1. 会 誌 発 行 収 入	1,462,550	1,350,000
広 告 料	860,000	
別 刷 収 入	412,650	
購 読 料	189,900	
2. 24 回 討 論 会 収 入	146,868	320,000
3. 17, 18 回 講 習 会 収 入	2,760,990	2,100,000
(III) 雑 収 入	74,162	50,000
支 出	6,805,734	7,585,000
(I) 事 業 費	3,854,337	4,115,000
1. 会 誌 発 行 費	3,738,337	4,000,000
印 刷 代	3,081,024	
別 刷 代	234,917	
原 稿 料	151,000	
発 送 費	271,396	
2. 研 究 グ ル ー プ	35,000	35,000
3. 6, 7 回 ワークショップ	80,000	80,000
(II) 管 理 費	2,951,397	3,470,000
1. 会 議 費	159,679	250,000
2. 交 通 費	412,800	900,000
3. 事 務 局 費	1,827,000	1,800,000
4. 通 信 費	240,240	250,000
5. 消 耗 品 費	256,024	220,000
6. 雑 費	55,654	50,000

差 引	残 高	1,268,836	△	59,000
前 期 繰 越 剰 余 金		3,643,510		
次 期 繰 越 剰 余 金		4,912,346		

3. 平成2年度役員 (○印新役員)

会 長 ○ 谷 口 雅 男 (神奈川工大)  
委 員 ○ 赤 萩 正 樹 (金沢大理)  
○ 網 田 佳 代 子 (兵庫県工試)  
  今 井 清 保 (石川高専)  
○ 内 川 清 彦 (エーザイ)  
○ 内 田 隆 (東工大)  
  大 島 民 夫 (東北工大)  
  冲 野 孝 之 (島津製作所)  
○ 小 國 正 晴 (東工大)  
  小 棹 理 子 (早大教養)  
  粕 谷 光 男 (東京理工)  
  加 緒 良 三 (真空理工)  
  菊 地 昌 枝 (東北大金研)  
○ 北 村 進 一 (京都府大農)  
○ 城 所 俊 一 (東大工)  
  木 下 良 一 (セイコー電子工業)  
  桑 原 勝 男 (理学電機)  
  児 玉 美 智 子 (岡山理科大)  
○ 齋 藤 一 弥 (都立大理)  
  竹 田 和 義 (九大工)  
  寺 井 隆 幸 (東大工)  
○ 寺 山 清 志 (富山大工)  
○ 東 原 秀 和 (信州大繊維)  
  戸 嶋 克 喜 (マックスサイエンス)  
  長 尾 真 彦 (岡山大理)  
○ 成 田 九州 男 (静岡県立大業)  
  新 居 淳 二 (三重大教育)  
○ 深 田 は る み (阪府大農)  
  吉 市 隆 三 郎 (北大工)  
○ 前 田 洋 治 (織高研)  
○ 丸 山 武 紀 (食品油脂検査協会)  
  山 根 常 幸 (東レリサーチセンター)  
  山 室 修 (阪大理)  
会計監査 ○ 大 塚 良 平 (早大理工)  
幹 事 ○ 阿 竹 徹 (庶務, 東工大工材研)  
  高 橋 克 忠 (会計, 阪府大農)  
○ 馬 場 義 博 (会計, 大工大)  
  松 尾 隆 祐 (編集, 阪大理)  
  神 本 正 行 (企画, 電総研)  
○ 中 村 邦 雄 (企画, 大妻女大)  
  藤 枝 修 子 (企画, お茶女大理)

- 三橋 武文 (庶務, 無機材研)  
 編集委員(委員長)松尾 隆祐 (阪大理)  
 ○稲葉 章 (阪大理)  
 ○木村 隆良 (近畿大理工)  
 ○深田 はるみ (阪府大農)  
 ○片山 巖 (阪大工)  
 ○田中 春彦 (広島大学校教育)  
 ○脇原 将孝 (東工大工)  
 (地域編集委員)  
 ○市川 和彦 (北大理)  
 ○児玉 美智子 (岡山理科大)  
 ○前田 洋治 (縹高研)  
 ○板垣 乙未生 (東北大選鉱研)  
 ○高見沢 徹一郎 (九大工)  
 ○松下 和正 (長岡技科大)

4. 平成2年度事業計画(1989.10.1~1990.9.30)

① 集会関係

- 1) 委員会1回(大阪), 幹事会4回(大阪1回, 東京3回), 庶務幹事会2回(東京), 編集委員会4回(大阪)
- 2) 熱測定応用研究グループ会合2回(大阪1回, 東京1回), 熱力学データベース作業グループ会合2回(東京), 分圧制御ソフト開発作業グループ会合2回(東京)
- 3) 第25回記念熱測定討論会(1989.10.31~11.2, 大阪)  
 第26回熱測定討論会運営委員会1回(東京)  
 (第26回熱測定討論会は九州地区で開催する予定)
- 4) Privalov教授およびFreire教授講演会(1989.11.6, 東京, 11.8, つくば)
- 5) 第16回通常総会(1989.11.1, 大阪)
- 6) 第2回日中合同熱測定シンポジウム(1990.5.29~31, 大阪)  
 第19回および第20回熱測定講習会  
 第8回および第9回熱測定ワークショップ

② 共催・協賛関係

- 共催: 第33回粘土科学討論会(1989.10.1~3, 秋田大学)  
 : 第30回高圧討論会(1989.10.16~18, 仙台)  
 協賛: 回折法による物質構造研究法入門(主催: 日本結晶学会, 1989.11.7~8, 東京)

③ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行

Vol. 16, No. 4は特集号1,350部,  
 他各号は1,050部(Vol.17, No.1~3)

- 2) 「熱測定の進歩」第6巻の編集および発行

④ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ  
 前年度に準ずる
- 2) 熱力学データベース作業グループおよび分圧制御ソフト開発作業グループ  
 前年度に準ずる
- 3) BCT情報収集作業グループ  
 前年度に準ずる

⑤ 国際協力 活動は前年度に準ずる

5. 平成2年度収支予算(1989.10.1~1990.9.30)

項	目	予 算 (円)
収	入	7,630,000
(I)	会 費 収 入	3,860,000
	正 会 員 会 費	2,460,000
	維 持 会 員 会 費	1,400,000
(II)	事 業 収 入	3,700,000
	会 誌 発 行 収 入	1,400,000
	25 回 討 論 会 収 入	200,000
	19, 20回講習会収入	2,100,000
(III)	雑 収 入	70,000
支	出	7,739,000
(I)	事 業 費	4,235,000
	会 誌 発 行 費	4,000,000
	グ ル ー プ 活 動	35,000
	ワ ー ク シ ョ ッ プ	80,000
	講 演 会	120,000
(II)	管 理 費	3,504,000
	会 議 費	250,000
	交 通 費	800,000
	事 務 局 費	1,854,000
	通 信 費	280,000
	消 耗 品 費	260,000
	雑 費	60,000
差	引 残 高	△109,000